



【プレス・リリース】

## ドイツ銀行、インドのティースタ V 発電プロジェクト向けに 総額 182 億 4,000 万円のローンをアレンジ

【2002 年 10 月 18 日、ムンバイ、東京、シンガポール同時発表】 ドイツ銀行のストラクチャード・トレード&エクスポート・ファイナンス部門は、本日、インドの国営水力発電公社（NHPC）と総額 182 億 4,000 万円に上るターム・ローン・ファシリティを設定することで合意し、調印しました。期間 16 年の同ファシリティに対してインド政府による保証ならびに日本貿易保険（NEXI）の海外事業資金貸付保険が付保されます。資金は NHPC によるシッキムのティースタ川流域水力発電プロジェクト（510 メガワット）の設備調達、建設、稼働コストに充当されます。

NEXI の海外事業資金貸付保険付きローン・ファシリティが、インド向けにアレンジされたのは今回が初めてです。同ファシリティは、香港上海銀行、ING 銀行、スタンダードチャータード銀行、ソシエテ・ジェネラル銀行、インド国立銀行の 5 行が共同アレンジャーとして参加し、東京でシンジケートが組成されました。

「同ファシリティにより、NHPC はフレキシブルなストラクチャーを通じて、海外からの輸入および国内で発生するコストの両方をカバーすることができ、低金利かつ長期の資金調達が可能となりました。NHPC およびインドに対する本案件の導入に際して、主要な役割を果し得たことを嬉しく思います」とドイツ銀行のマネージング・ディレクター兼ストラクチャード・トレード&エクスポート・ファイナンス部門のアジア地域統括責任者であるプラディーブ・マトゥールは述べています。

ティースタ V プロジェクトはヒマラヤ山脈の高地、シッキムのティースタ川流域に立地する発電プロジェクトです。発電所完成の暁には、年間 25 億 7,300 万ユニットの発電能力を有し、イースタン・グリッドに送電されます。同プロジェクトは安価で、低公害の電力を提供し、雇用を創出します。稼働は 2006 年の予定です。

NHPC はインド政府所有の企業であり、国内に豊富に存在する水力や風力、地熱、さらには津波をも利用し、安価で低公害かつ無尽蔵の電力を生産するために、1975 年に創設されました。現在、インド最大の水力発電会社として、8 つの発電所を合わせて 2,175 メガワットの電力を生産しています。NHPC はスケジュール A 企業に分類され、投資規模でインドの公益事業会社中、上位 10 社にランクされます。目下、ティースタ V プロジェクトを含めて、6 件の水力発電プロジェクトを遂行しています。

以上

ドイツ銀行グループは、総資産約 9,000 億ユーロを有し、8 万 4,500 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 75 カ国で 1,200 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベート・ウェルス・マネジメントの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。ドイツ銀行グループでは、顧客重視の姿勢を一貫し、また顧客サービスをより強化するため、組織を「法人・機関投資家向けビジネス（CIB）」と「個人・資産運用ビジネス（PCAM）」の 2 つに集約しています。当グループは、グローバルな金融機関として、幅広い顧客ニーズに適した金融ソリューションを提供する一方で、ドイツを拠点とする卓越した金融機関として企業価値の増大にも努めています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行東京支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報担当

電話: (03) 5156-7705